

令和5年 新年年頭所感

一般社団法人 日本内燃力発電設備協会

会長

平野 正樹

令和5年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。会員をはじめとする皆様におかれましては、日頃より当協会の業務につきまして格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

新年の年頭にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

新年を迎え、当協会の会員一同、心を新たに自家発電設備の安全性・信頼性の向上に取り組み、社会の安全・安心に寄与すると共に、設備の適切な供給並びに保全の推進に努めて参ります。

さて、昨年を振り返りますと、ロシア軍のウクライナ侵攻を契機として、エネルギー需給が逼迫し、エネルギー価格が高騰しました。更には急激な円安が進み、原材料・その他の輸入価格を押し上げ、諸物価の高騰につながっています。また、新型コロナウイルス感染症の問題も加わり、受注はしても部品等の輸入遅延により生産活動が停滞する等、サプライチェーンの問題も明らかになりました。日本という国が、世界との連携があって初めて成り立っていることを改めて認識すると共に、安全保障の重要性を痛感いたしました。ウクライナ問題が一日も早く平和裡に解決されることを、切に願っております。

次に、国内における災害状況を顧みますと、地震・豪雨による自然災害が数多く発生した一年でございました。地震による災害では、令和4年3月の福島県沖地震、同年8月の北海道宗谷地方北部地震等、全国的に震度5を超える地震が数多く発生しました。豪雨による災害では、令和4年9月に台風第14号、第15号が続けて発生し、西日本から中部地方に甚大な被害が発生しました。いずれも広範囲の停電が発生しましたが、特に台風第15号では鉄塔が倒壊し、静岡県内で長期間の停電を引き起こしました。当協会が行った非常用自家発電設備の稼働状況に関する調査で、台風第14号、第15号の停電発生地域に設置されたほとんどの非常用自家発電設備が正常に始動し、非常電源としての機能を果たしていることが報告されています。しかし他方で、メンテナンス不足による稼働不良が一部で見られ、

施設並びに設備の日常管理の重要性が再認識されています。当協会としては災害対応能力を強化するために、自家発電設備の更なる普及促進、導入容量の拡大に努めて参る所存です。

令和4年10月27日に開催した理事会と政策審議委員会による「合同会議」(岩手・盛岡市)においては、出席者の皆様方と率直な意見交換や相互の情報交流を活発に行いました。3年ぶりに開催した令和5年1月12日の「新年賀詞交歓会」(東京・目黒雅叙園)においては、数多くの会員をはじめとする皆様方にご参加いただきました。

新型コロナウイルス感染症の問題もいまだ予断を許さない状況が続いております。工夫を施しながら会員をはじめとする皆様方との積極的な交流の機会をできる限り増やして、皆様方への情報提供と皆様方からのご要望にも応えつつ、当協会が取り組む各事業について更なる充実を図りたいと存じます。引き続き、時代の変化に的確に対応した積極的な事業展開に努めて参りますので、会員をはじめとする皆様方の一層のご支援とご理解をお願い申し上げます。

結びに、先行き不透明な時代ではございますが、新年が皆様方におかれまして、明るい未来への希望を持てる一年となりますことを心からお祈り申し上げます。会員各社の益々のご発展と皆様方のご健康をお祈り申し上げ、令和5年の年頭のご挨拶といたします。